

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎**1月のアルミ概況及び2月の見通し (4)****予想レンジ**

LME 現物後場買い 2,400-2,700ドル ●
 スクラップ 据え置き～+10円 (前月最低価格より) ●
 為替 150円～160円 円高
 (1か月間TTM)

■国内外況まとめ**◆自動車生産**

生産動態統計によると、12月の自動車生産台数は前年比-8.5%の64万5,363台。輸出は前年同月比-7.8%の37万9,074台。

◆自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると、1月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+10.1%の23万8,906台。

◆住宅着工戸数

12月の新設住宅着工は、持家、貸家が増加したが、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比2.5%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比1.6%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は62,957戸

前年同月比2.5%減、8か月連続の減少

○新設住宅着工床面積は4,893千㎡

前年同月比2.5%減、8か月連続の減少

○季節調整済年率換算値では787千戸

前月比1.6%増、3か月ぶりの増加

◆アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比-0.1%の13万6,928 t。マイナスに反転。

板類 8万5,356 t +1.6% 2か月連続プラス

押出類 5万1,572 t -2.8% 5か月連続マイナス

◆アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績

前年比 -8% 5万6,261 t 5か月連続マイナス

出荷 -9.7% 5万5,384 t 5か月連続マイナス

◆輸出

新地金	+18.3%	309 t
二次合金	-15.8%	668 t
スクラップ	-5.3%	3万3,641 t
アルミ缶	+18.1%	63,76 t

◆輸入

新地金	+41.5%	10万9,285 t
二次合金	+14.5%	10万509 t
スクラップ	+65.5%	983 t
合金スクラップ	-16.7%	7,261 t

■見通し**◆自動車**

12月の自動車生産が-8.5%。1月国内販売台数は前年比+10.1%。販売が増加。生産は4か月連続減少。トランプ関税による自動車販売の影響を注視。

◆アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比-0.1%の13万6,928 t。マイナスに反転。

板類 8万5,356 t +1.6% 2か月連続プラス

押出類 5万1,572 t -2.8% 5か月連続マイナス

■スクラップ景況予想

流通(一次問屋)在庫はLME価格が2,516ドルから2,617ドル台と上昇局面だったが円高で相殺される形で特に変わらず。

メーカー在庫は自動車生産の減少やトランプ関税による先行き不透明感から積極的には買わないのではないかと。

■LME・為替予想

今月は以下の項目に左右される。

●米とトランプ大統領の関税政策

コロンビアに続きメキシコ、カナダ、そして中国と交渉中ではあるが、あくまで交渉材料の一環で、各国の対応によっては長期化や世界経済への影響もあり、一時的な急落の可能性あり。

●日米首脳会談

2月7日に開催される日米首脳会談での日本への関税やそれに対する日本の対応、代替策がキーポイント。こちらも一時的な急落要因になる。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,400ドル-2,700ドル(セツル)と予想。

ドル円値は150円～160円(TTM)台を予測。

スクラップ購入価格に関しては、据え置きから+10円程度と予想している。